

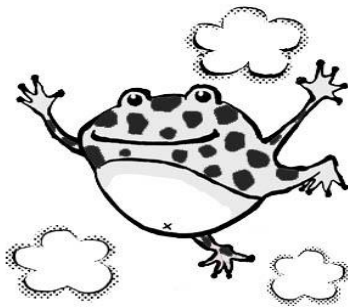
# かえる便り 2019年度1号

平成31年4月8日

陽春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成最後の遠征は部員達に大きな刺激を与えたのではないのでしょうか？自分達との違いは何処にあるかを考える切っ掛けになってほしいと願っています。全国的には無名であるチームの凄く激しく速いプレスを目の当たりにして、どのように受け止め、自己変革を図らなければならないかを考えて欲しいものです。今のままでよいと考え自分を変える努力をしないのであれば、意味のない無駄な遠征で終わります。

昨年の遠征最終日Bチームは最高の試合をしました。全員が全力でプレスをかけカバーを最後まで行っていました。しかし、その時の意欲を持ち続け日々本気で努力を継続した人はごく僅かでした。今遠征は残念ながら、必死さが感じられません…。



今日一日の実行こそが人生の全てである。

平澤興氏の言葉です。多くの偉人たちが同様のことを述べています。年齢を重ねるにつれ、このことが分かってきました。もう少し若い時に理解し実行していたらと後悔しています。部員達には後悔させないよう指導していきたいと思います。

元来、人の能力差はそれほどないけれど、差が生じるのは“習慣の質”にあると思います。与えられた事を“厭々する人”と“意欲的にする人”では大きな違いが出ると思いませんか？何故なら、意欲的な人は楽しくするために工夫をし、問題が生じた場合には積極的に解決策を考えるから、その姿勢が周囲に好印象を与え協力者も増えると思います。厭々する人は、人の所為や言い訳をして、その場を何とか繕おうとするので、他から冷ややかに見られることが多いと思います。どちらを選ぶかで人生の愉しさが変わりますよ!! 勉強もサッカーも同じです。

習慣の質を高めたいのであれば、明確な目的や目標を持ち、良い準備をして直ぐに実行・反省をすることを繰り返すことだと思います。つまり、日々事を行うにあたって、“準備・実行・片付け”をすることです。最初は拙い準備や行動であっても、積み重ね検証することで改善されるようになると思いますよ。

遠征中、保護者会をはじめ多くの皆様に差し入れをしていただき本当にありがとうございました。彼らも皆さまのご厚意に感謝していますが、自分を高めるために最善の努力を継続して、結果で示してほしいと思っています。